

東京オリンピック ・パラリンピックと地域活性化 ～地域におけるレガシーの活用～



(公財) 東京市町村自治調査会 高橋 治

本日の内容

1. はじめに
2. 調査研究の背景・狙い
3. 多摩・島しょ地域の現況と課題
4. レガシーの活用方法
5. 具体的な取組み方策
6. まとめ

東京市町村自治調査会のご紹介



東京都の多摩・島しょ地域
全39市町村が共同で設置する
自治体シンクタンク
市町村における広域的・
共通的な課題について
政策提言・情報提供

調査研究の背景・狙い

平成27年度

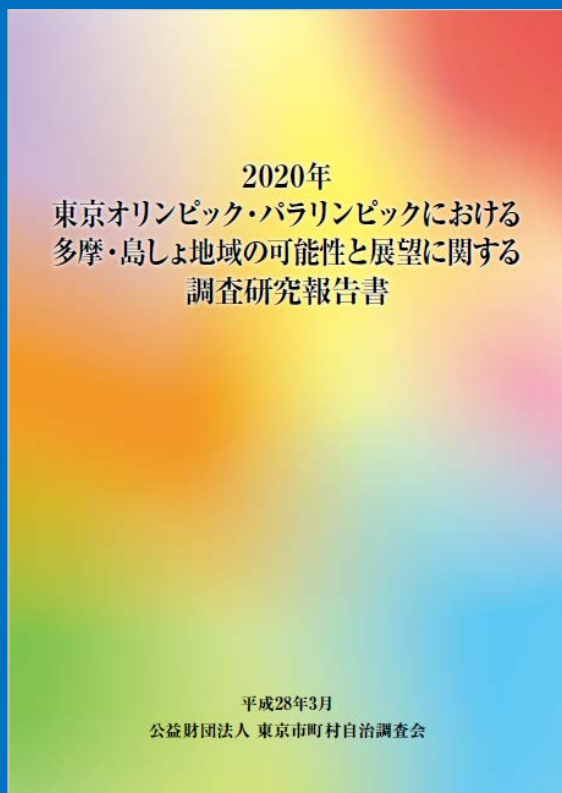
三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）と共同研究

開催地以外の地域において

オリンピック・パラリンピック

の機会をどう活用して

地域活性化につなげていくか

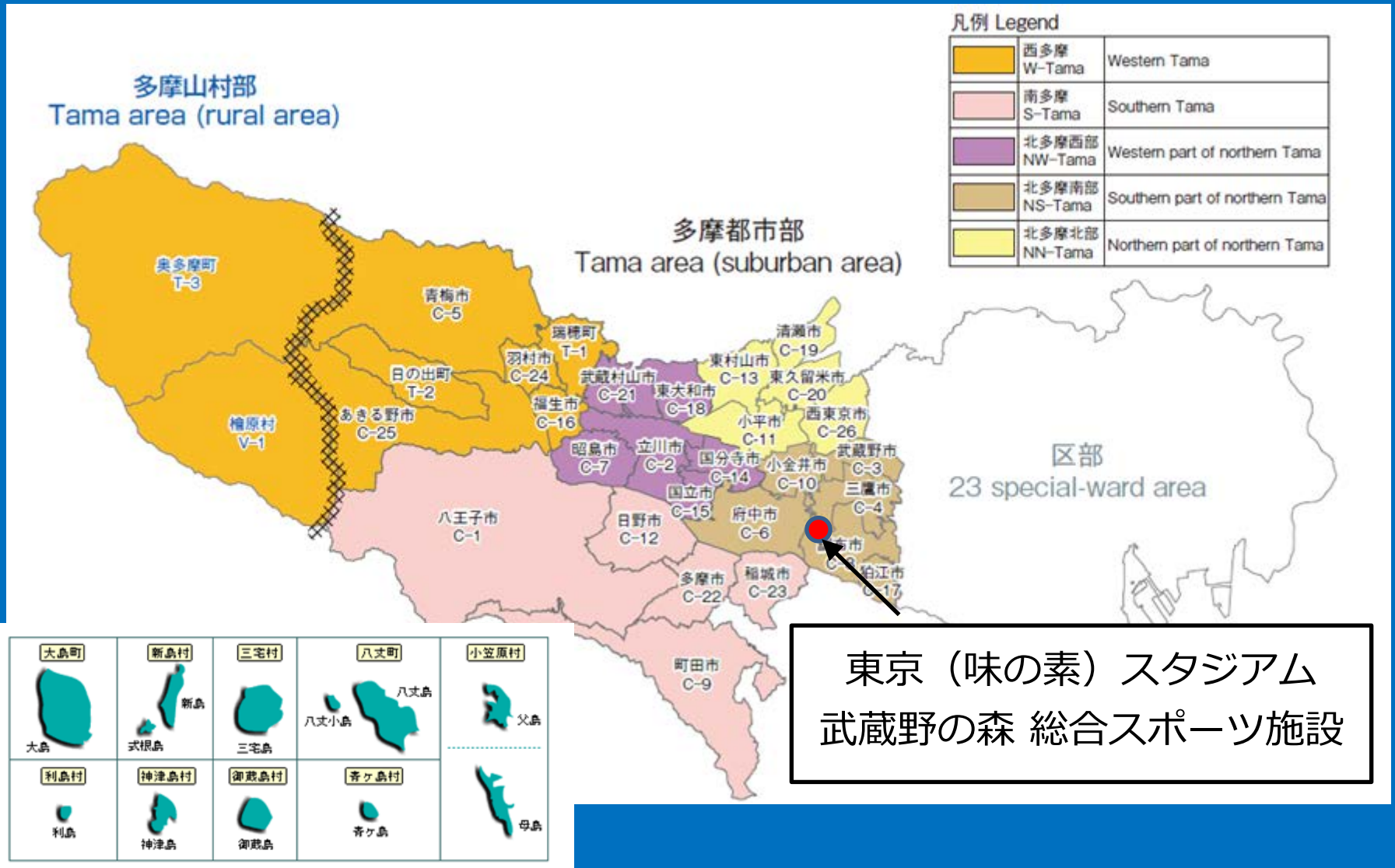


調査研究の背景・狙い

- 平成27年度（全体像）
 - ・レガシーの活用方法
- 平成28年度（各論）
 - ・事前キャンプ誘致
 - ・障害者理解促進～インクルーシブ社会
 - ・ボランティア活動の推進

29年度以降もオリ・パラに関連する調査を実施

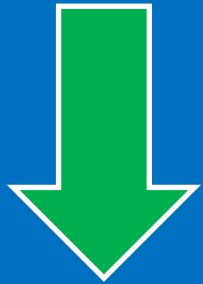
調査研究の背景・狙い



調査研究の背景・狙い

オリンピック・パラリンピック

- あまり関係ない
- 効果が期待できない



オリンピックレガシーの活用

- 大きな効果が期待できる
- 効果を多摩・島しょ地域に広げられる

多摩・島しょ地域の現況と課題

■ 基礎データ

◆ 人口	23区	9,016千人	68.3%
	多摩・島しょ	4,186千人	31.7%
◆ 面積	23区	622.99km ²	28.5%
	多摩・島しょ	1,565.68km ²	71.5%

H26 多摩地域データブック（2014）より

東京のベッドタウンとして発展

多摩・島しょ地域の現況と課題

■ 特徴

◆ 豊かな緑（みどり率）	23区	19.8%
	多摩地域	67.1%

東京都HP 平成25年「みどり率」調査より



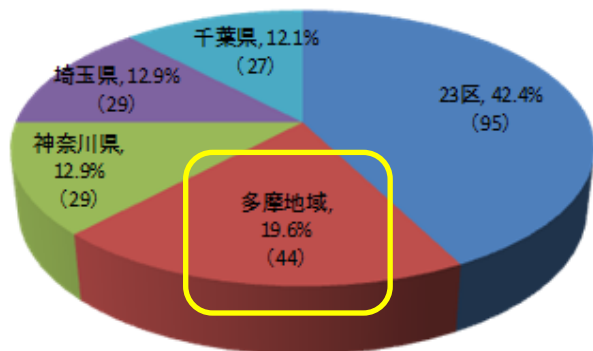
多摩・島しょ地域の現況と課題

■ 特徴

多くの大学が
立地

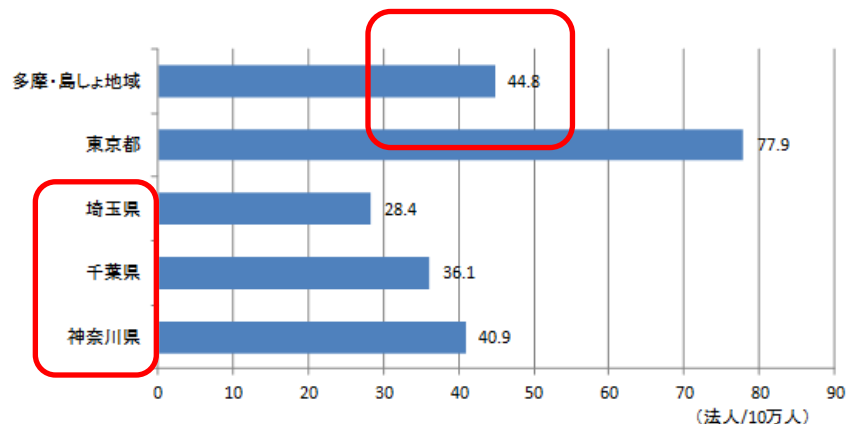
市民活動が盛ん
(NPO法人)

1都3県に本部を設置する大学の地域別内訳



資料) 文部科学省「学校基本調査」(平成 25 年度)より作成

人口 10 万人あたりの NPO 法人数

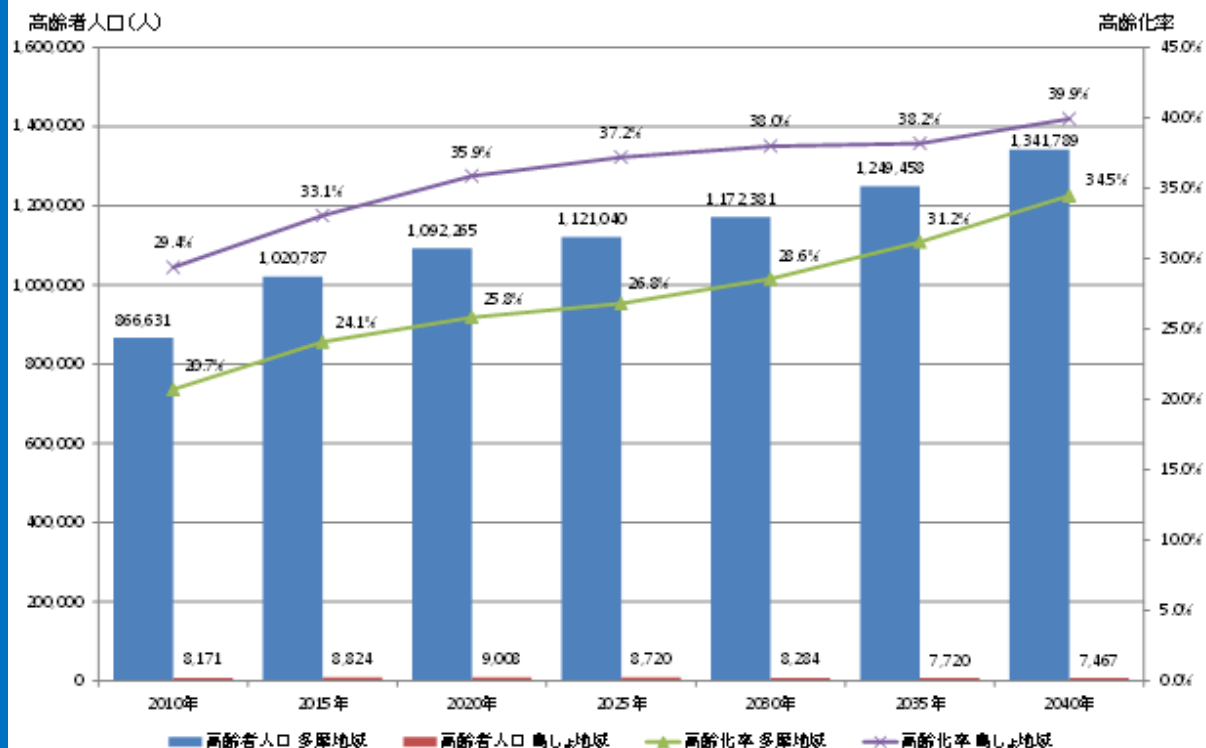


注 1) NPO 法人数は、主たる事務所の住所より整理したもの(平成 27 年 12 月現在)である。
注 2) 平成 27 年 4 月現在の住民基本台帳に基づく総人口
資料) 内閣府「NPO 法人情報」等より作成

多摩・島しょ地域の現況と課題

■ 高齢化への対応

多摩・島しょ地域の高齢者数・高齢化率の推移



資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成 25 (2013) 年 3 月推計)より作成

多摩地域

2010年 20.7%
 ▼ +13.8
 2040年 34.5%

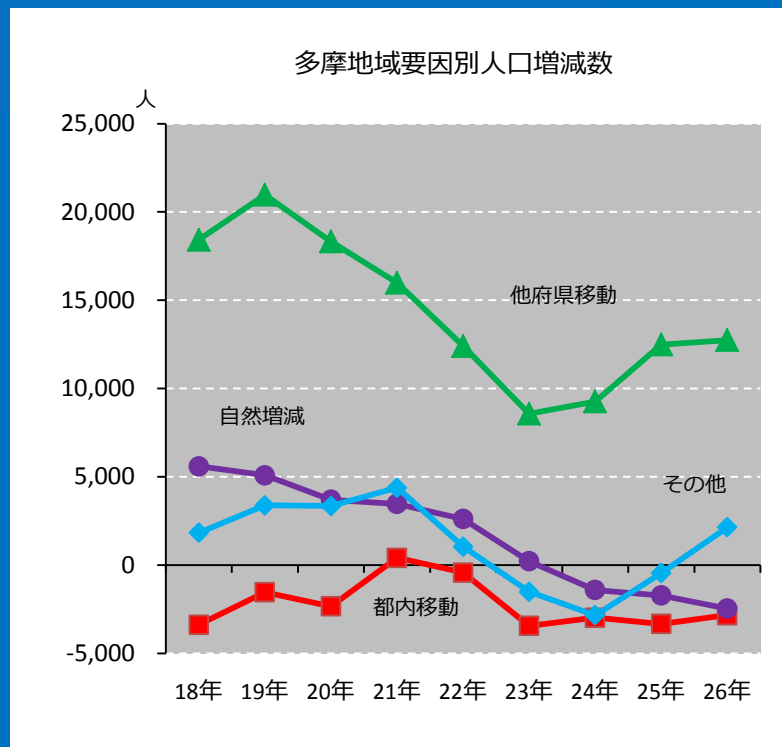
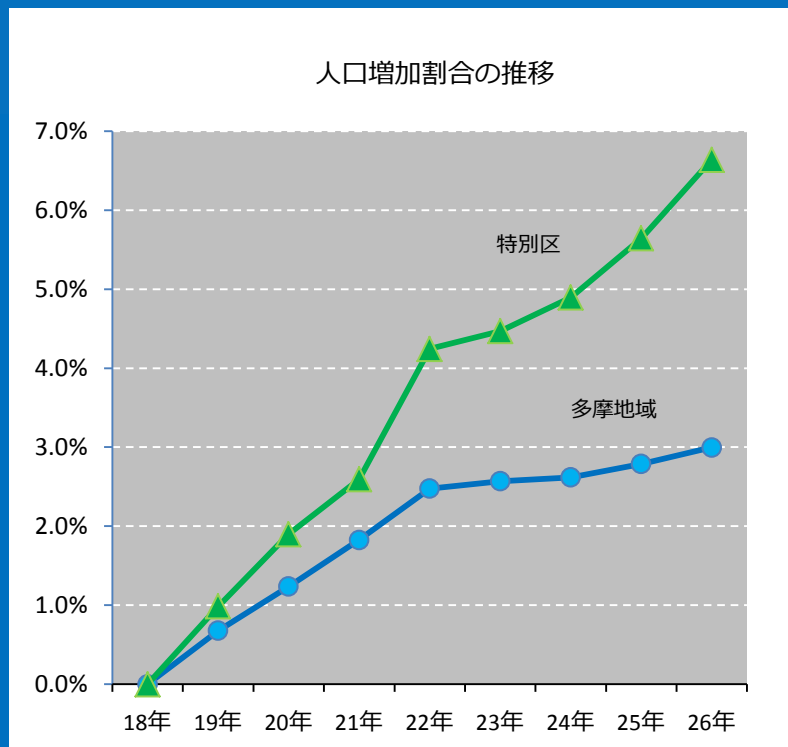
全国

2010年 23.0%
 ▼ +13.1
 2040年 36.1%

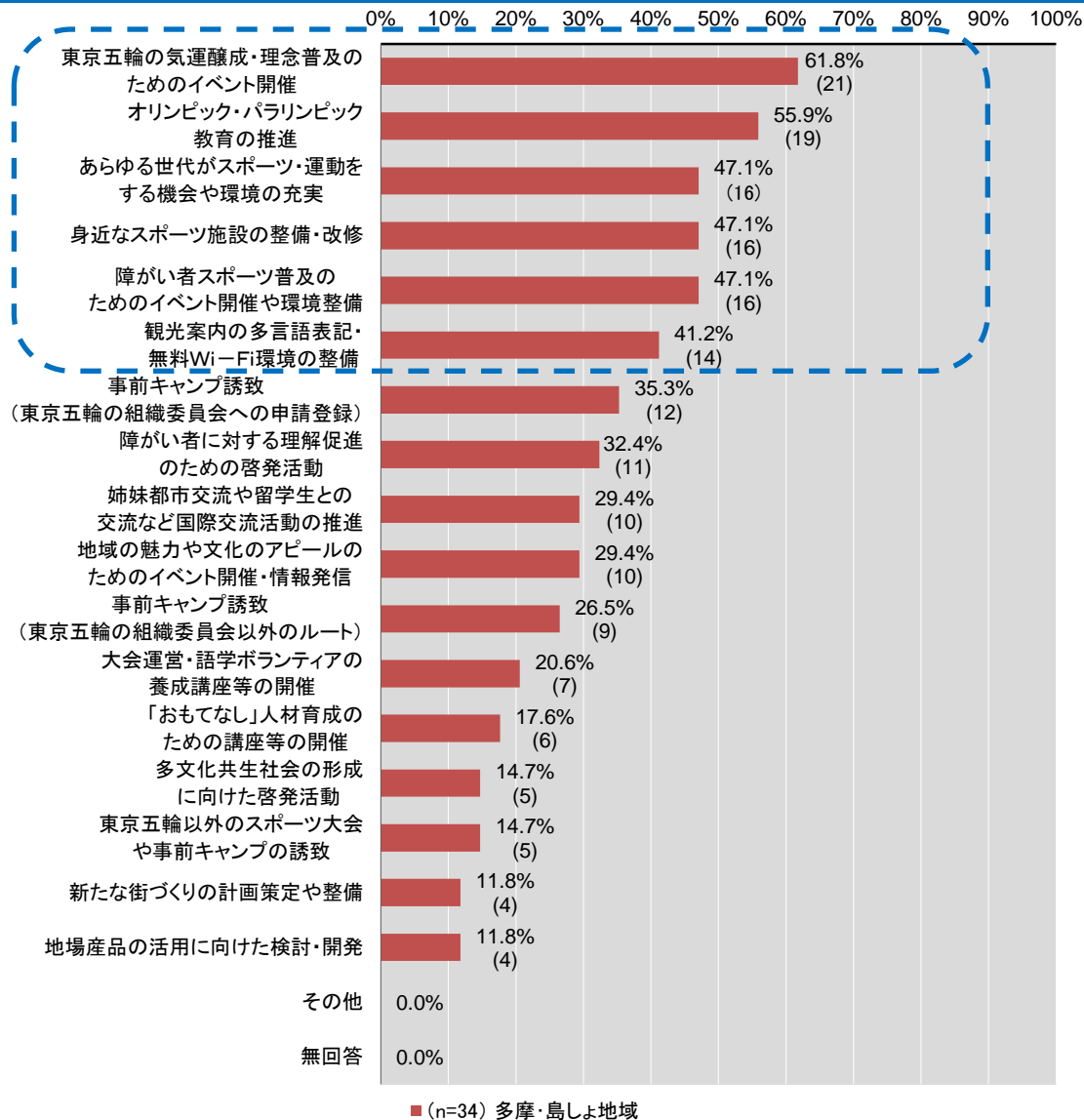
多摩・島しょ地域の現況と課題

■ 地域の魅力喪失の危機

- ・ 都心回帰の傾向（人口・大学）



多摩・島しょ地域の現況と課題



◆ 取組みの現状

1位 気運醸成のイベント

2位 オリパラ教育

3位 運動環境
施設整備
障がい者
スポーツ普及

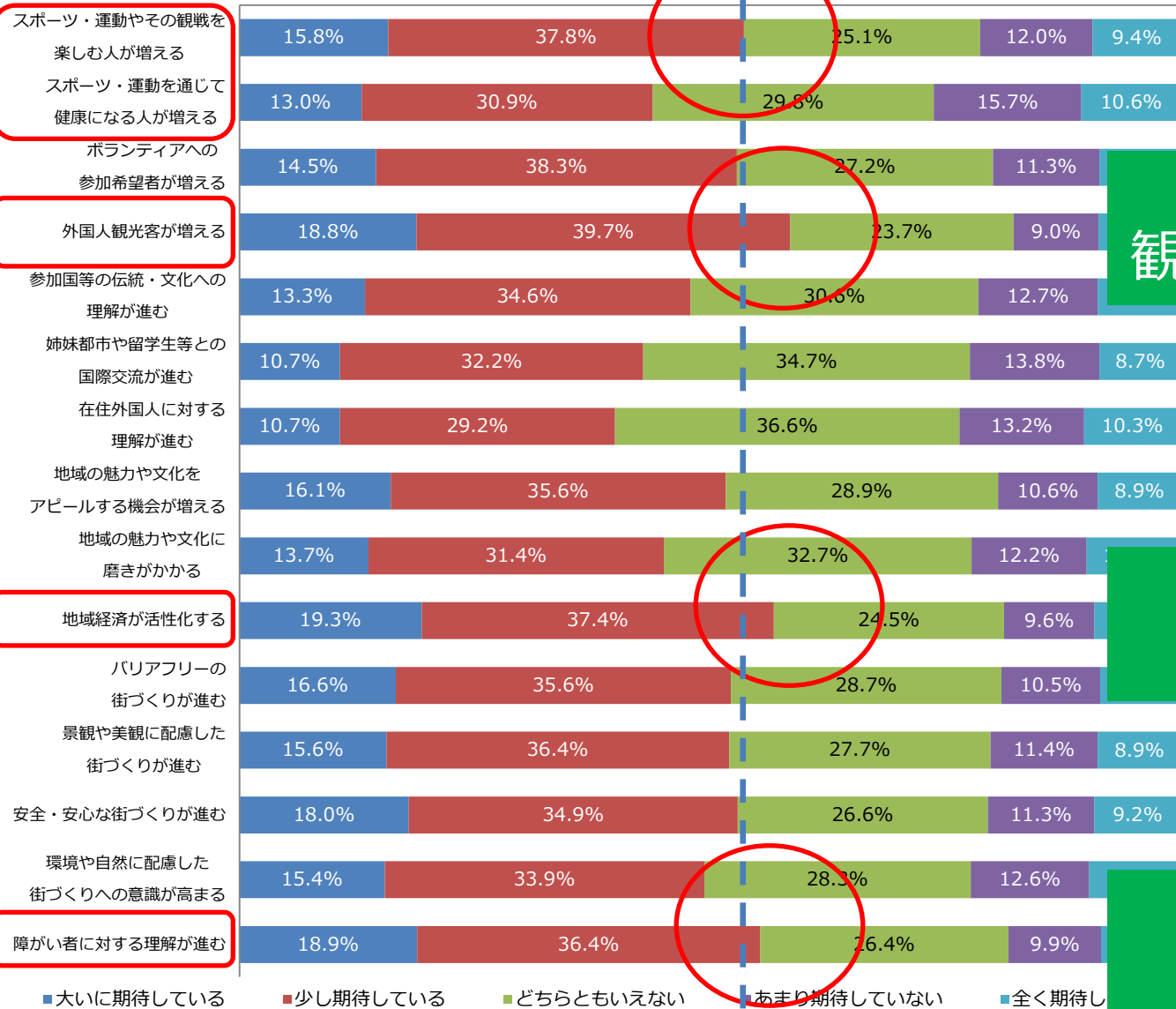
6位 観光案内
WiFi整備

* 複数回答

◆大会の成果・期待すること（住民アンケート）

報告書より

(n=1,096) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



外国人
観光客の増加

地域経済
活性化

障がい者
理解促進

レガシーの活用方法

オリンピックの招致・開催を契機に
開催都市ないし、開催国にもたらされる
長期的かつ社会全体に広がる
ポジティブな影響

レガシーの活用方法

オリンピックの開催がもたらす社会現象

- スポーツへの関心が高まる
 - 多くの注目が日本に集まる
- どこの地域でも起こる



社会的気運や関心ごとを施策につなげる

- 地域課題の解決
- それぞれの分野の取組みを推進するきっかけ

レガシーの活用方法

社会的気運・関心ごと

スポーツへの関心の高まり



施策

住民の健康増進

障がい者への意識の変化



障がい者理解の促進

おもてなし意識の高まり



景観保全・まちの美化
地域の魅力発信

ボランティア活動への
関心の高まり



ボランティア活動の推進

レガシーの活用方法

レガシーを活用して取組みを推進

住民の健康増進

障がい者理解の促進

景観保全・まちの美化

地域の魅力発信

ボランティア活動の推進



解決すべき課題

誰もが安心して暮らせるまち

地方創生

ボランティア文化の定着

地域課題の解決を推進する可能性がある

具体的な取組み方策

分野

具体的な取組み

創出するレガシー

スポーツ
健康

サイクリング等の促進

事前キャンプ誘致

住民の健康増進

スポーツ文化の定着

障がい者

障がい者の理解促進

社会的
包摂性の醸成

まちづくり

まちの総点検
華のある景観形成

美しく
安全安心なまち

文化・教育

地域で活躍する
ボランティアの確保

ボランティア
文化の定着

経済・観光

滞在型観光の促進

地域のブランド
力の向上

具体的な取組み方策

事前キャンプ誘致に向けた取組み

① 独自ルートが発掘

事例紹介 千葉県山武市

② 受入体制の点検と評価

事例紹介 千葉県鴨川市

③ 地域における戦略的な対応（広域連携）

事例紹介 広域連携によるスポーツ合宿誘致

具体的な取組み方策

事前キャンプ実施自治体アンケート

- 施設所在自治体に関わらない取組みが約 3 割（30.8%）
→未発見のつながりの存在
- 誘致決定は、大会前0～20か月が 6 割強（65.4%）
→誘致活動はこれから本格化（十分間に合う）
- 複数の自治体が連携した取組みが、半数（51.9%）
→足りないところを補い、可能性を広げる

* 事前キャンプ等の誘致による
東京五輪への気運醸成に関する調査研究報告書より

具体的な取組み方策

事前キャンプ誘致に向けた基本的な考え方

- 何らかのつながりがある方が有利
→埋もれたつながりがないか、市内・自治体内を調査
- 実施国に対する積極策の検討
→通常未実施の団体が実施の可能性（ロンドン大会の事例）
- 複数の自治体が連携して取組むことで有利に展開
→より良い環境を作り誘致につなげる

* 事前キャンプ等の誘致による
東京五輪への気運醸成に関する調査研究報告書より

具体的な取組み方策

■ 事前キャンプ誘致に向けた取組み

ホストタウン登録

武蔵野市	ルーマニア
調布市	サウジアラビア
青梅市	ドイツ
町田市	南アフリカ

具体的な取組み方策

首相官邸HPより作成

登録団体	相手国	計画の特色
武蔵野市	ルーマニア	<ul style="list-style-type: none">・ルーマニア革命から間もない1992年から友好都市交流のあるブラショフ市との交流が基盤。毎年50日間、日本文化研修のためブラショフ市民を招へい。・これまでの交流をさらに深めていくため、オリパラを契機に、文化分野に加えスポーツ分野での交流を開始
調布市	サウジアラビア	<ul style="list-style-type: none">・2002年FIFAワールドカップサッカー大会の事前合宿を受け入れたことを契機に交流が開始。・今回の大会を契機に一層の交流を展開。調布市花火大会に同国関係者を招待するなど調布の魅力を経験してもらうとともに、大会時には選手の小学校訪問等の交流事業を検討
青梅市	ドイツ	<ul style="list-style-type: none">・1965年、ボッパルト市と姉妹都市提携を締結同市寄贈のブドウの木から収穫された実を使った「おうめワインボッパルトの雫」の販売、青少年交流やマラソン交流など多様な分野における交流を続けている。・多数のオリンピックを輩出しているカヌースラロームの聖地「御岳渓谷」を活用し、事前合宿誘致を進める。
町田市	南アフリカ	<ul style="list-style-type: none">・2015年、同国のラグビーチームが強化合宿を実施。これをきっかけに、ラグビー等の事前合宿誘致を進める。・「ネルソン・マンデラ月間」などの同国の関連行事に合わせ、イベントを実施。

まとめ

オリンピックを地域の課題解決に

- ◆ オリンピックの開催により起こる現象や効果を施策につなげ、**地域課題の解決を**
- ◆ オリンピックは、**問題解決に取り組む好機**
- ◆ まだ4年あると捉え **取組みの推進を**

詳細は **報告書**をご覧ください

ご清聴ありがとうございました

<http://www.tama-100.or.jp/>



事例紹介



① 独自ルートの発掘

草の根交流を契機とした取組み

- スリランカの子どもたちを支援する元校長



- スリランカ政府と関係が深い高僧



- スポーツ大臣に経過報告 ▶ キャンプ快諾

きっかけが眠っている可能性がある

事例紹介

② 受入体制の点検と評価

モデルキャンプの実施



- トップ選手による練習会場や宿泊施設の体験



- 必要なサービス等の聴取・問題提起



- 誘致に向けた課題とセールスポイントの整理

ニーズ等を把握した効果的なセールス

事例紹介

③ 地域における戦略的な対応（広域連携）

南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会

みなべ町 千里ヶ丘球場



上富田スポーツセンター



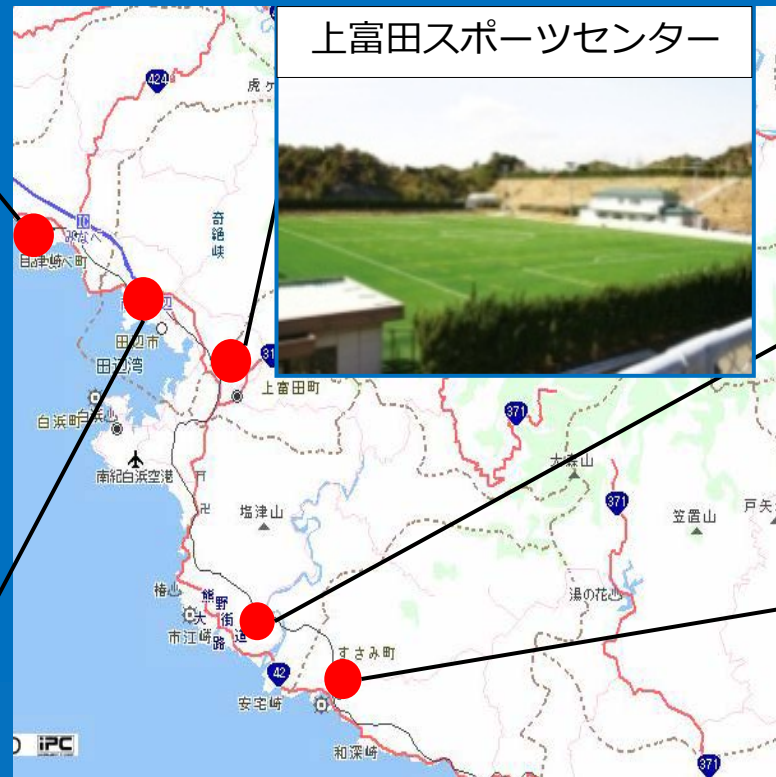
白浜町テニスコート



田辺スポーツパーク



すさみ町総合運動公園



事例紹介

③ 地域における戦略的な対応（広域連携）

南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会

- みなべ町・上富田町・白浜町・田辺市
すさみ町が連携



- 連携することで受入体制や対応能力を強化



- 外部の視点を取入れ地域全体で戦略的に対応

広域連携による効果的なプロモーション

<ご利用に際して>

- ・本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当会はその正確性、完全性を保証するものではありません
- ・また、本資料は、講演者の見解に基づき作成されたものであり、当会の統一的な見解を示すものではありません
- ・本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当会は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます>・本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：公益財団法人 東京市町村自治調査会と明記してください
- ・本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当会までご連絡下さい